

## 建築関係団体等との意見交換における主な意見（第3回専門委員会後）

### 《基準》

- 県産木材利用について、**構造材6割（8割）**では対応できる工場が少なく**達成が難しい**基準となる。
- 伝統技能に関して、担い手不足・担い手の疲弊もあり**一歩加速化は難しい**のでは。
- 「**基本基準**」の**言い回し**はこれでよいと感じてしまうので、上を目指すのであれば**言い回しの再考**を。
- **バイオマス活用**でどの程度環境負荷低減に寄与するか**数値化**してほしい。
- 一次エネ計算は、開口部の縮小などが評価につながりやすい。**建物の燃費計算**など、**日射取得量や暖房負荷**を考慮した基準の設定を。
- 推奨基準・基本基準の数値（**外皮性能**）を**引き上げる**べき。
- 基準の達成状況をカラーバーで示す等、**一般の方への分かりやすさ**を考慮すべき。
- **気密**については、施工できる業者が限られ、必須とする場合は**試験費等が負担**になり**戸別の対応は厳しい**。
- **耐震等級3**は壁量が多くなるため、**開放性とは共存しづらい**。
- **耐震性能は、住まい手への実感がわきづらい**（訴求しづらいように感じる）。
- 基準を全て網羅した場合、**不都合になる地域もある**のではないかと。

### 《建築主》

- 建築するのは**施主である**。**建築主にどうアプローチするかが重要**。  
住宅ローンの見せ方（**イニシャルコスト**としてではなく**ランニングコスト**として考慮）  
金額的に省エネ効果を見える化を。  
予算の都合により**高断熱化できない状況**がある。
- 高断熱化した**住まい手へのインタビューの公表**など広報活動が必要。
- **税制優遇や低金利商品**を活用できる体制づくりをしてはどうか。
- 大手メーカーの施工より、**工務店の施工だと借入額が数百万円低くなる**。
- 「**基準の設定について**」は**施主が見てもわからない**。金額面やエネルギー削減量で示すなどいかが。
- 「**断熱改修**」のみの改修には**興味がない建築主も多い**。
- 若年層（高断熱住宅に比較的興味がある方が多い）が建築したくても**予算が厳しく断念せざるを得ない**こともある。
- 予算が合わないときは、性能を落とさず規模の縮小（ありきではなく総合的に検討した上で）を優先して考えている。

### 《事業者》

- **省エネ計算が面倒**。
- 省エネ計算の経費を施主に転嫁することが**悩ましい**。
- 高断熱化を提案しても、予算の都合により**低価格で建築できるメーカーに流れてしまう**恐れがある。
- **技術者向けに気密・省エネ計算の講習会**をしてほしい。
- 気密施工に関してどの程度の施工をすればどのくらいの性能を確保できるか**目安を提示してもらおうと**分かりやすい。

### 《補助》

- **いつでも申請可能**にしてほしい。（時期や予算の都合で受けられないことがないように）
- 断熱性能に応じて段階的に補助金を用意すると**施主に理解されやすい**。
- 賃貸物件に対しても**インセンティブ**を検討してはどうか。